

でも楽しく



やさしい場オープン

東京都板橋区の心身障害児総合医療療育センター（君塚葵所長）に10月19日、入所中の子どもを癒やすためのプレールーム「マニユライフわくわくルーム」がオープンした。子どもが障害の程度に関係なく遊べるように寝ころんでいても天井の絵を見て楽しめる工夫をし、おもちゃ選びの絵を見て楽しめる工夫をし、おもちゃ選びのプレールームの装飾りなどに遊べるものなど

東京都板橋区の心身障害児総合医療療育センター（君塚葵所長）に10月19日、入所中の子どもを癒やすためのプレールーム「マニユライフわくわくルーム」がオープンした。子どもが障害の程度に関係なく遊べるように寝ころんでいても天井の絵を見て楽しめる工夫をし、おもちゃ選びのプレールームの装飾りなどに遊べるものなど

野球用のグローブを買いたい子ども



社会的養護の支援サイト

児童養護施設や里親のもとで暮らす子どもを支援するための取り組みがある。児童支援寄付サイト「ゆめさば」（写真）だ。ネットショッピング感覚で寄付ができ、自分のお金が具体的にどんなことに使われるかなど分かるのも特徴の一つ。ゆめさばは2012年4月にスタートした。運営者は、社会福祉法人阪南福祉事業会（大阪府）の児童養護施設「岸和田学園」副園長の永野耕平さん。立ち上げたきっかけは、永野さんの友人が子どもをサッカー

や野球チームに所属させたり、ピアノを習わせたりしているの聞き、施設や里親のもとにいる子どもたちには「（写真）だ。ネットショッピング感覚で寄付ができて、自分のお金が具体的にどんなことに使われるかなど分かるのも特徴の一つ。ゆめさばは2012年4月にスタートした。運営者は、社会福祉法人阪南福祉事業会（大阪府）の児童養護施設「岸和田学園」副園長の永野耕平さん。立ち上げたきっかけは、永野さんの友人が子どもをサッカー

ネット通販感覚で

サイトをみると、寄付を募る事例には「習字に行きたい」のほか、夢は保育士という高校3年生が専門学校に進学するための「14年度前期分の学費」などもあり、具体的だ。現在は10件ほどのエントリーがある。寄付は1口2000円や1000円などさまざまある。寄付の方法は支援したい夢を選択し、さらに口数を選んだあと、「寄付をするボタン」を押し、表示される手順に沿って進む。寄付を受けた場合は、運営者の永野さんに連絡をとる。

サイトをみると、寄付を募る事例には「習字に行きたい」のほか、夢は保育士という高校3年生が専門学校に進学するための「14年度前期分の学費」などもあり、具体的だ。現在は10件ほどのエントリーがある。寄付は1口2000円や1000円などさまざまある。寄付の方法は支援したい夢を選択し、さらに口数を選んだあと、「寄付をするボタン」を押し、表示される手順に沿って進む。寄付を受けた場合は、運営者の永野さんに連絡をとる。

習字に行きたい、保育士になりたい… 子どもも夢に寄付届く

永野さんは、子どもたちを大学に行かせたいという思いも強い。将来もろう資金などを考えると大卒の方が有利なためだ。例えば、学費などを気にして大学進学を諦めかけていた子どもを説得。原則的には施設にいられなくなっ

永野さんは、子どもたちを大学に行かせたいという思いも強い。将来もろう資金などを考えると大卒の方が有利なためだ。例えば、学費などを気にして大学進学を諦めかけていた子どもを説得。原則的には施設にいられなくなっ



「二十五日曜の空ほのぼのと明初めて午前七時とあ次のように伝えている。

明治22（1889）年9月11日、大日本帝国憲法が公布され、翌年11月に第1回帝国議会が開催された。そのため第1次仮議事堂がドイツの建築家アドルフ・ステヒミューラと技師、吉井茂則の設計により建設された。場所は経済産業省の敷地内の麹町区内幸町2丁目1番地である。当日の東京日日新聞（毎日新聞）は次のように伝えている。

国会議事堂の変遷



子どものために、移動式のおもちゃも導入した。君塚所長は「手術やリハビリで家を離れている子どもにとって、プレールームは楽しい改革もあ

子どものために、移動式のおもちゃも導入した。君塚所長は「手術やリハビリで家を離れている子どもにとって、プレールームは楽しい改革もあ